

陳 述 書

私は、2000年7月イギリス人女性ルーシー・ブラックマンさんが失踪し、カルト教団へ入信したとか、さまざまな報道がなされ、興味を持っていました。

2000年10月12日、ルーシー事件の容疑者が逮捕されました。そして、その男性の田園調布の自宅の庭が掘り返されている事が報道され、油壺の洞窟も大勢の警官が搜索し、警察犬やスコップを持った捜査員が洞窟を搜索している風景がその写真と共に報道されていました。

私の趣味は釣りで、35年程キャリアがあります。三浦半島の城ヶ島へも、昔から時々石鯛釣りに行っていました。又、子供が小さい頃、油壺マリンパークへ遊びに連れて行っていました。

当時報道された、三浦市諸磯湾沿いにあるリゾートマンション「ブルーシー油壺」は、諸磯湾の角にある、海に面した洒落たマンションです。私は、ルーシー事件の以前から、その近辺のヨットハーバーへ行ったときに、そのマンションを何度か見て、知っていました。

「ブルーシー油壺」沿いの海岸の洞窟で搜索が行われている事が、新聞等で大きく報道されたその数日後、私は野次馬根性で、「ブルーシー油壺」の海岸沿いの搜索現場である（当時の報道で）「プライベートビーチ」と呼ばれていたところへ見に行きました。

当時の報道では、搜索現場は海岸線のプライベートビーチのような入り江で、海岸線から20m程入り、切り立った崖の洞窟という事でした。その為私は、「ブルーシー油壺」から海岸線の遊歩道を歩いて行き進んで行くと、報道されていた搜索現場である洞窟がありました。

私が行ったときには、搜索等はされていませんでしたが、人が数名その海岸付近に居ました。

洞窟の前には高さ2.5m位、幅3m位の大きな岩がありました。これ以外の洞窟としては、1個所金属の柵がしてあって中に入れないものがあり、もう1個所は高さ60cm位の隙間の穴のようなものであり、一般に洞窟と言える場所は先程の大きな岩の場所の所だけでした。

その洞窟の入口は幅3m位、天井の高さは2m位でしたが、奥へ行く程幅が狭くなっていき、奥行きは7～8mで奥の方は幅は1m位の細長



い洞窟でした。

当時洞窟の仲には、大きな穴の開いたボロボロの浴槽があり、洞窟内の砂は掘り返された跡があり、洞窟内が搜索で掘り返された事は一目で分かりました。

当時ルーシーさんには10万ポンド（約1650万円）の懸賞金が掛けられていました。そして、私の好奇心旺盛な性分もあって、その日はそれ程時間がなかったので、再度現場に来て、ルーシーさんの手掛かりになるものを探そうと思いました。

もしも手掛かりとなるものを発見し、ルーシーさん発見につながる事が出来れば、警察から感謝されると共に、大金を獲得出来るからです。

私は、数日後に再度現場を訪れ、その際には、スコップ、手提げ袋、軍手、ライトを持参し、ブルーシー油壺の海岸線の遊歩道を手掛かりとなるものがないか、注意深く見ながら歩いて行きました。

もちろん報道や、前回洞窟内を見た状態から、洞窟内は大勢の捜査員によって掘り返され、搜索された事は分かっていましたが、遺体を埋めるとしたら人目に付く海岸ではなく、岩に隠れたこの洞窟が一番適している事は誰にも分かることです。例えば、金色の髪の毛や、何かルーシーさんにつながるものがないかと思い、私は、洞窟の入口付近から7～8m先の突き当たり迄、深さ50cm程掘り返して行きました。掘っている時には、ボロボロの浴槽は邪魔なので、洞窟の外に出していました。深さ50cm程というのは、掘っていった際に「ゴツン」と岩に当たったのだと思いました。

洞窟内の砂は粗く、かつ柔らかく、簡単に掘って行くことが出来ました。洞窟の入口からどんどん掘り返し、その都度ライトで照らし、じっくり見ながら奥まで到達しましたが、手掛かりとなるものは何も有りませんでした。掘っている間、変な臭いは一切せず、海辺の磯の香りがしただけでした。

この洞窟を掘った後、掘った砂と浴槽を元通りにしました。その後、別の個所の高さ60cm位の隙間の穴のような洞窟も掘りましたが、手掛かりとなるものは有りませんでした。

翌年の2001年2月9日、私が掘り返した洞窟からルーシーさんの遺体が発見されたと報道され、大変驚きました。しかし、洞窟の実際の



深さは数メートルもあって、非常に深く、私が50cm程掘った際に当たった岩は途中にある岩であり、ルーシーさんの遺体は深いところに隠されていたので私や私が掘る前捜査員が掘った際、その途中の岩盤を底であると勘違いをしていたのだと思っていました。

先日、私が洞窟を掘った2000年10月後半以来、久しぶりに油壺の海岸線を歩き、洞窟へ行きましたが、木の囲いがされ、洞窟の中へ入ることは出来ませんでした。そして、洞窟の中は砂が掘られていました。私は、洞窟の深さが前記のように数メートルの深さだと勝手に思い込んでいたのですが、実はそうではなく、やはり私がスコップで50cm程掘った際に当たっていた岩が、途中の岩盤ではなく、洞窟の底の岩盤であったということが分かりました。

私が洞窟の中を掘り返したのは、2000年10月14日に捜査員が洞窟を捜索した事が報道された後です。そして、その時には洞窟に遺体などは絶対にありませんでした。またその時、洞窟内で砂を掘っている間中、変な臭いがしたということもありませんでした。

インターネットでルーシー・ブラックマンを検索すると、その関連サイトに2000年10月の洞窟の状況を知っている人を探しているページがあり、知っていることを伝えると弁護士の方から連絡がありました。

その弁護士の方に、ルーシーさんの遺体が発見された洞窟の深さを聞くと、深さ50～60cmだという事で、間違いありませんでした。私が上記のことをお話すると、弁護士の方から、当時の状況と事実を書面で明らかにして戴くようにと言われ、当時の状況と事実を述べました。

上記記載に間違いはありません。

平成21年7月 9 日

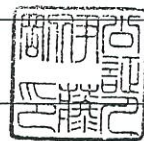
川崎市宮前区野川3611-2 501号

池田 正人





1	平成 21 年登簿第 0657 号
2	認 証
3	嘱託人 池田正人 は、法定の手續に従って、本公証人の
4	面前で、この陳述書の記載が真実であることを宣誓した上、
5	これに署名捺印した。
6	
7	以上のとおり認証する。
8	平成 21 年 7 月 9 日本職役場において
9	東京都港区新橋 1 丁目 1 番 1 号
10	東京法務局所属
11	公証人 伊藤 剛
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	



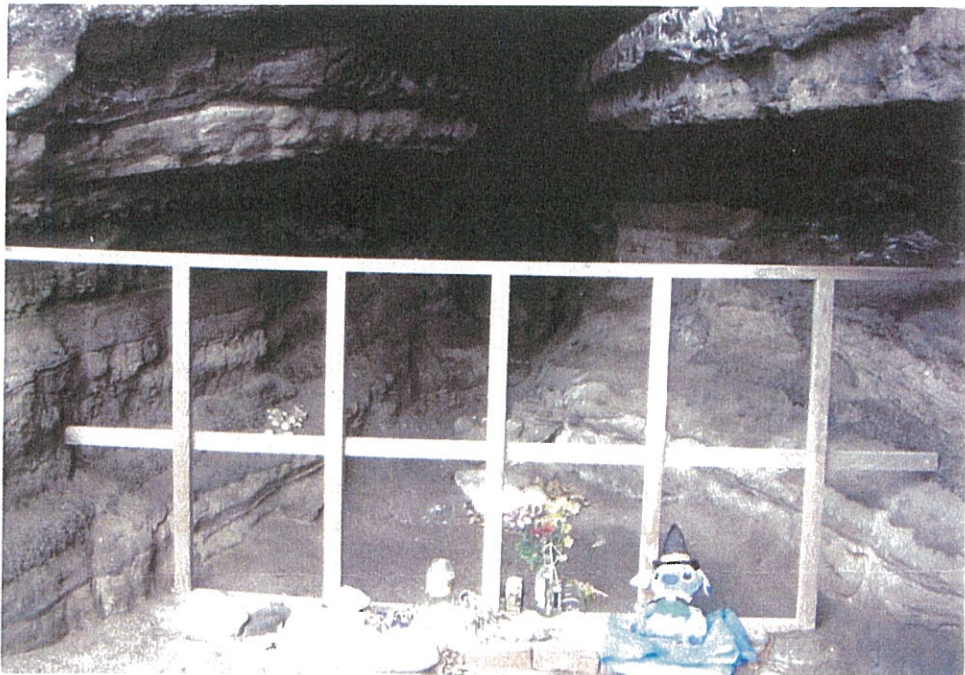
宣誓供述書

私が昨年平成21年7月9日宣誓供述書に記載した2000年10月後半に掘ったブルーシー油壺の海岸線の先にある洞窟は本書面添付写真の洞窟です。

平成22年3月 女 日

住 所 川崎市宮前区野川3611-2

氏 名 池田正人 (印)



私が掘った洞窟は上記写真の洞窟に間違い
ありません。

刈山寺宮前区黒川 3611-2

刈山寺



上申書

ルーソー事件の最高裁判所の判決について、
大変憤りを感じています。

既に、公証人立ち合い、下証言した通り、

2000年10月12日織原容疑者が逮捕された後の

10月後半、ルーソー発見に懸けられた、99額の

懸賞金、目当てに翌年遺体が出てきた、

洞窟を掘り返した、時には何もありませんでした。

この事件の判決は完全に誤っています。

2000年10月、後半、私が掘った時には、

洞窟に遺体など無かった事は、間違いないです。

平成22年12月19日

住所 川崎市宮前区野川 36112

代名

池田正人



原本の写しに相違ありません。

「23」 2. 28

池田正人



	(公)	(証)	(人)	(役)	(場)
(1)	平成 23 年 登簿第 0219 号				
(2)	認 証				
(3)	嘱託人 池田正人 は、法定の手続に従って、本公証人の				
(4)	面前で、この上申書の記載が真実であることを宣誓した上、				
(5)	これに署名捺印した。				
(6)	以上のとおり認証する。				
(7)	平成 23 年 2 月 28 日本職役場において				
(8)	東京都港区新橋 1 丁目 1 番 1 号				
(9)	東京法務局所属				
(10)	公証人 伊藤 剛				
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					
(16)					
(17)					
(18)					
(19)					
(20)					

